

個人事務所を開業

暗記中心の通信教育 2度目の受験で社労士に

Step Up!

労働保険事務組合・
社労士事務所
アシスタント



新日本マンパワー 社会保険労務士
再学習レベルアップ講座 修了生

田中 友季子 さん(36歳)

文教大学人間科学部卒業後、学校法人や語学スクールなどを経て、2005年第一労務協会へ転職。在職中の2007年、社会保険労務士資格取得。2009年個人事務所の東京人事労務田中事務所を開業。

スクール編

実務を経験後 資格取得を目指す

学校法人など教育業界での広報や研修担当を経験したのち、2005年第一労務協会へと転職した田中友季子さん。

「30歳を過ぎてから転職するには勇気が必要でしたが、思い切った今の事務所に転職しました。労働保険や社会保険の実務をこなすうち、法的に社会保険労務士の有資格者だけができる独占業務の存在を知りました。これから長く働いて自分の力で生きていくためには必要だと考え、資格を取ろうと決めました」

06年、資格スクールに通って試験を受けるが、そのときは不合格となってしまう。

「試験に落ちたあと、スクールの先生に『理解はできているけど、暗記ができていない』と言われました。もう一度スクールで基礎から学ぶのは時間があったくないので、暗記を中心にできる通信教育を選ぶことにしました」

スクーリングのない通信講座では、答案作成時に「ここが分からない」と率直な疑問を書き込んだ

こともある。回答の添削だけでなく、アドバイスや応援のメッセージが添削者から返ってくる場合もあり、励みになっていたという。

親しい友人や得意先に 勉強を応援してもらう

「通信教育は1人で黙々と勉強する側面が強い分、そういう小さなメッセージがすごく心に響くんです。ごく親しい友人や仕事のクライアントの方たちに、自分が資格に挑戦していることを伝えて応援してもらおうの思いもあります」

07年の合格発表時には、友人や得意先からたくさんのお祝いのメールが届いたという田中さん。まるで自分のことのように喜んでくれる得意先から、以前よりもさらに強い信頼を感じたと語る。

現在は第一労務協会で事務の責任者、企業対象の人事労務コンサルタントとして活躍しつつ、個人事務所も開業。労務関係のセミナーで講師も務めている。

「30代で転職した社労士の仕事ですが、今ではこれが私の天職！資格によって実務に説得力が増し、理解や興味もどんどん深まっています」



■ 「学び」スケジュール公開！

| 休日 | 平日 |
|-----------------|---------------------|
| 6:00 起床 | 5:30 起床 |
| 8:00 部屋の掃除など | 8:00 通勤途中・近くのカフェで勉強 |
| 10:00 | 10:00 |
| 12:00 | 12:00 |
| 14:00 勉強 | 14:00 仕事 |
| 16:00 | 16:00 |
| 18:00 | 18:00 勉強 |
| 20:00 | 20:00 |
| 22:00 就寝 | 22:00 就寝 |
| 0:00 | 0:00 |

なるべく残業は減らし 朝型に切り替える

受講開始約1か月後から起床時間を早め、朝の学習時間を確保。会社では、ほかのスタッフに任せられる業務はやってもらうなどして残業時間を減らした。週末は1日3時間ほど、趣味の器械体操などを行い、身体を動かす気分転換も。

■ 学び & モチベーションアップグッズ



教科書に直接書き込み
マーカーでカスタマイズ
勉強はテキスト中心。「サブノートなどは作らず、テキストに直接書き込んでいました。日本マンパワーの教材は文字の大きさが色使いも含めてとても使いやすかったですね」



勉強に疲れたときは こだわりの癒しグッズ

頭と心をリフレッシュさせるため、アロマオイルやクリームなど、リラクゼーショングッズにはこだわった。オリジナルブレンドのハーブティやフリスクも、気分転換に最適だったという。